



Governor's Monthly Letter

2008-09年度 国際ロータリー第2770地区

〒330-0063
さいたま市浦和区高砂1-2-1-116
エイベックスタワー東館1階
T E L : 048・827・0022
F A X : 048・827・0011
E-mail : ri2770iwabuchi@plum.plala.or.jp



ガバナー月信



Governor
Message

ロータリアンは青少年の模範
Every Rotarian an Example to Youth

ガバナー 岩渕 均

9月は新世代月間です。皆様のクラブで様々な青少年育成プログラムを実施されていることだと思います。先月行なわれた新世代部門セミナーから私の印象に残ったことを二、三ご紹介致します。

インターラクトで韓国にホームステイをした高校生の話です。韓国の家庭に滞在して感じたことは「家族の絆の強さ」であったと。現在の日本では『「個」の尊重』が叫ばれ、家庭や社会や国家の大切さを忘れさせているような風潮がありますが、韓国でのホームステイではそれと違った価値観を感じたようです。高校生の彼にとって大変有意義な体験であったと思います。

次は、ライラ研修に参加した大学生のスピーチです。鹿児島県知覧は特攻基地のあったところ。特攻隊員から母のように慕われた鳥浜トメさんの宿舎で当時と同じおにぎりをいただきました。部屋には特効隊員である二十歳前後の青年の写真が飾られていました。家族のため、国のために、明日にも死地へ飛び立つ若者が凛々しく写っていたことが印象的でした。覚悟はできているといえども実際の胸の内は複雑で、一晩中泣いていた若者もいたということです。今日の平和は彼らの犠牲の上に築かれたものであることを改めて認識しました。

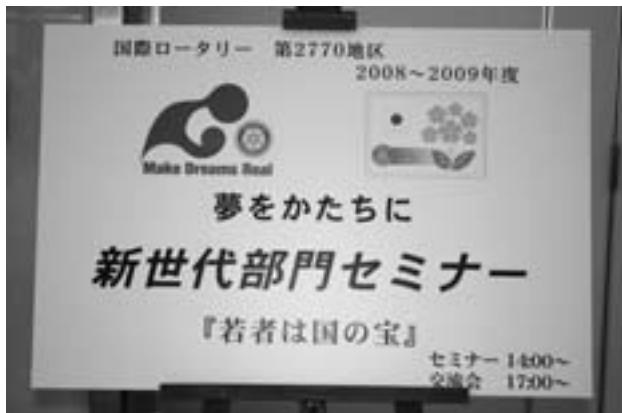
二人の若者のスピーチに共通なことは、当たり前のことではありますが、人間は社会的な存在であり、全くの「個」ということはあり得なく、社会と共に生きているということです。ロータリーのプログラムを通じ、このようなことを学んでくれたことは大変にうれしいことです。

新世代プログラムには、この他、小・中学生に対する新世代育成、青少年交換、中・高校生の職場体験、ローターアクトなど、様々な青少年健全育成のプログラムがあります。皆様が、ロータリーの標語である「ロータリアンは青少年の模範 (Every Rotarian an Example to Youth)」を実行してくださることを期待致します。

「新世代部門セミナー」報告

(7月12日開催)

新世代部門委員長 金杉 光左生 (八潮中央 RC)



「若者は国の宝」をテーマに、7月12日(土)浦和コルソ7階に於いて…

地区内ロータリアン250名のご出席を頂き有意義なセミナーを開催する事が出来ました。有難うございます。当日行なわれました新世代部門セミナーでの内容を各クラブ例会にて発表して下さい。この事が一番大切です。そして新世代部門の年間活動計画と予定をすべてのクラブ会員と共有して下さい。宜しく願い致します。

さて、新世代部門は「新世代育成」「インターラクト」委員会と「ローターアクト」「ライラ」委員会にて活動をして参りますが地区内全てのクラブに発信される育成、ライラについては御理解頂けますが、インターラクト・ローターアクトに付きましては提唱クラブに限られた



職場体験・韓国訪問等の発表者と会場風景

情報が発信され、その他のクラブには発信されていないのが現状であります。今年度は全てのクラブが新世代部門の情報を共有して頂き協力をお願いする事にいたしました。

ロータリーの新世代への奉仕には過去永い歴史があるように新世代のロータリープログラムは明日を担う若い人々の為にこれからも末長く続けていく事が必要であります。21世紀に入り今後、益々強化発展されていかなくてはならないのではないでどうか?!

次の時代を担う若い人々の多様なニーズを認識し、彼らの為によりよい未来を築く基礎づくりの行動であります。新世代の若者達の健全な育成を私達が成し得るかどうかに掛っているのではないでどうか?

どうぞ今後共、引き続き新世代のためのプログラムの推進をお願い申し上げます。

尚、当日行なわれました基調講演、体験発表等盛り込んだ報告書を作成し全てのクラブに配布する準備をさせて頂いておりますので、ご期待下さい。



インターナショナルライラリアン松下篤史氏熱弁を奮う

ロータリー財団セミナー報告（7月19日開催）

ロータリー財団部門委員長 鈴木 子之吉（浦和東 RC）



今回、セミナーを開催するに当たって、ロータリー財団は『自分達の財団である』をコンセプトに開催しました。

地区ロータリー財団の下記5委員会は、そのために何をするか協議しました。

- | | |
|---------------------|---------|
| 1. 財団増進・ボリオ委員会 | 大熊正道委員長 |
| 2. 財団奨学学友委員会 | 岡田和男委員長 |
| 3. 研究グループ交換(GSE)委員会 | 植野正裕委員長 |
| 4. 世界平和フェローシップ委員会 | 近藤敏春委員長 |
| 5. 地区補助金委員会 | 下 和雄委員長 |

そこで、各委員会の関わる財団プログラムをロータリアンの皆さん方に分かり易く紹介することでした。各委員長は委員会プログラムに関わる関係者（国際親善奨学生・世界平和フェロー・GSE 派遣生・地区補助金プロジェクト実施クラブ・ボリオ撲滅の現状報告）に参加を呼びかけ、財団は世界と地域でこんな事をしているのだと映像等を使って、披露することが出来ました。

しかし、紹介するプログラムが多すぎること、またスピーチの設定時間が短かったこと等から企画した時間内に収まりませんでした。そのため関係者の皆様方にご迷惑をお掛けしましたこと、心からお詫び申し上げます。

これら紹介したプログラム

ムが活発に実施できるのは、当地区のロータリアンの貴重なご寄付のお陰です。今回、中村年度の DDF（地区活動資金）がどの様に使用されたか、使用の細目を決算書の形で公表することができました。また、岩渕年度の DDF の使途予算書も提示することが出来ました。

今まで多くのロータリアンから寄付したお金がどの様に使われているか、分からないとよく云われていましたが、決算書・予算書として公表出来ましたことで、少しほう理解を頂けたものと思います。

財団プログラムとご寄付に更なるご理解が深まれば『財団は自分達の財団である』に段々近づいて行くものと思います。

中村年度のご寄付は地区目標の寄付額（1人平均年次寄付・200ドル）を上回る207.03ドルでした。心から厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、セミナーで基調スピーチを頂きました財団管理委員の田中作次氏、特別スピーチを頂きました RRFC の北清治氏、両氏に厚く御礼申し上げ、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

今年度も各委員会は活発に活動して参りますので、財団プログラムへの参加とプログラムを支える貴重なご寄付に更なるご理解を賜りますよう、心からお願ひ申し上げ、セミナーのご報告と致します。



熱心にメモを取るセミナー参加者



ブラジルより帰国した GSE 研修生によるスピーチ

米山記念奨学部門セミナー報告（8月2日開催）

米山記念奨学部門委員長 菊池 隆喜（庄和 RC）

国際ロータリー第2770地区岩渕年度の米山記念奨学部門セミナーが、さる8月2日（土）にラフレシアいたまに於いて開催されました。

各クラブ会長・クラブ米山委員長・カウンセラー・大学指導教員・米山奨学生・米山学友会・ガバナー補佐・各部門委員長の参加をいただき、出席者数236名となりました。

このように多数のご参加をいただけたのも岩渕ガバナー及び関口研修リーダーの、リーダーシップのおかげと深く感謝申し上げます。

岩渕ガバナーの熱意あるご挨拶をいただきまして、続いて研修リーダー関口 PG のご挨拶と米山部門担当諮問津田 PG に、米山記念奨学事業についてお話しを頂きました。



米山奨学生による3分間スピーチ

そして米山部門セミナーでは昨年に続き、パワーポイントを使用しスライドを観ていただきながら、私から米山奨学部門について説明させていただきました。

大熊増進委員長より増進活動報告として、寄附目標2万円以上、税法上の優遇措置、34地区第一位目標、奨学生との卓話は年間を通して全クラブに訪問する、と言う報告がありました。

続いて遊馬学友委員長より、カウンセラー・奨学生の心構えや、奨学生としてのあり方のお願いと説明があり、又 学友会主催のボランティア活動ごみ拾いの説明と、その他 学友委員



米山奨学学友会によるミャンマーサイクロン募金等の報告会活動の発表をされました。

休憩後、米山奨学生28名に自己紹介と近況報告を入れて3分程度のスピーチを行ってもらいました、それぞれ皆さんは奨学生を頂いて、アルバイトをしなくとも、勉強及び研究に打ち込めると感謝の言葉をいただきました。

そして大学の指導教官を代表して、共栄大学の内藤先生より感謝の挨拶がありました。

奨学生の皆さんのが、日本の文化習慣等を学び、将来日本と母国を結ぶ架け橋となりロータリーの良き理解者に育っていただきたいと思っています。

この米山記念奨学事業に深い理解を賜り、今後もご支援ご協力をお願い申し上げましてセミナーの報告と致します。



津田健三担当諮問委員のご挨拶

広報部門セミナー報告

広報部門委員長 細井喜久雄（庄和 RC）



細井広報部門委員長



テレ玉アナウンサー西尾七海さんの講演

『すべての奉仕活動は広報とともに』と銘打つて、広報部門セミナーは8月9日、大宮ラフォーレ清水園におきまして、地区役員および地区内ロータリークラブ会長・幹事・副会長・広報担当委員長228名のご出席をえて開催されました。

基調講演の講師の西野七海様（フリーアナウンサー）はじめ今回地区的広報媒体を担っていただく埼玉新聞社からは佐藤取締役が、テレビ埼玉からは西永取締役はじめ、両社からはスタッフの方々にもご参加いただき、ロータリークラブの広報に対する思い入れをご理解いただけたのでは、と自負しております。

このセミナーを通してロータリアンの皆さんに是非お伝えしたいことを述べます。まず、私たちの外に向けての広報媒体としてのマコミの人たちの印象です。

ロータリーは世界の平和を目指している団体ではあるが、

1. 社会奉仕、国際奉仕を通して社会的な活動をどのように伝えているのか
2. 地域とともに進める運動を分かってもらえないのでは
3. ロータリーで育った人を紹介していない、例えば緒方貞子さん。
4. 国際的な活動をPRしていない、例えば米山奨学生、ロータリー財団。

5. 専門用語が多すぎ

6. ロータリーを誤解、道楽と思われている。

これらの指摘は、ロータリーの友地区委員の大沢委員もセミナーのなかでロータリーのイメージ調査結果からロータリーを認知している人でもその9割が誤った理解をしている点をあげています。

これらの問題点を解決するために、

1. 今回のように新聞・テレビといったメディアと接触する。
 2. RI制作の「環境に関する公共広告用DVD」をテレビ埼玉で放映する。
 3. 月に一度、ロータリーの奉仕活動を埼玉新聞に取り上げてもらう。
 4. 地区大会にカバナー記者発表を企画し情報発信する。
 5. メディア向けのニュースリリースが大切。話題性があって記者が興味を持ちそうなことをアピールする。
- 実際に私たちロータリアンは企業人ですから、マーケティングは日常の経営活動です。ロータリークラブにおきましても、広報活動をマーケティング戦略として位置づけたいものです。
- なお、セミナーのなかでRI広報賞のご案内をいたしましたが、本年7月1日をもって同賞は廃止されましたことをお知らせするとともにお詫び申上げます。



「謙譲の美德」の日本人にも広報の重要性を

2009～2010年度派遣国際親善奨学生 第一回オリエンテーション

財団奨学学友委員長 岡田 和男（大宮北RC）

ロータリー財団奨学学友委員会では7月26日（土）さいたま共済会館504号室にて岩渕均ガバナー、関口博正財団担当諮問委員、大塚信郎ガバナー・エレクト、井橋吉一ガバナー・ノミニーをはじめとして推薦クラブの会長・カウンセラーの皆様、ロータリー財団部門各委員長の出席をいただき、派遣及び受入国際親善奨学生第一回オリエンテーションを開催いたしました。本年度は派遣国際親善奨学生11名、受入国際親善奨学生（ベトナム）1名が合計5回のオリエンテーションを通じて国際ロータリーへの理解を深め派遣先での国際親善に寄与していただきます。

第一回オリエンテーションでは、岩渕均ガバナー、大塚信郎エレクトのご挨拶に続き関口博正パストガバナーによる「国際ロータリーについて」鈴木子之吉ロータリー財団部門委員長の「ロータリー財團について」の御講義をいただき、奨学生一人ずつに自己紹介を含め「ロータリー財団国際親善奨学生に選ばれての抱負」を発表していただきました。その後、派遣国カナダから6月に帰国した2007～08年度国際親善奨学生の西宮清夏さんが留学時の経験を含めたアドバイス、関森初義越谷北RC会長のご挨拶、財団学友会会长鈴木五郎先生の選考試験の講評とアドバイスをいただき閉会いたしました。

国際親善奨学生としての私の抱負

川口ロータリークラブ推薦
国際親善奨学生 荒井 静



さんの支援の下で何を具体的に研究していくのかという点を含めながらお話をさせていただきます。

私は、大学学部時代に国際関係学を専攻し、韓国、中国、フィリピンなどの学生たちとの交

今日は、「国際親善奨学生としての抱負」というテーマで、簡単にこれまでの経験とロータリー財團の皆

流を行う一方で、国内の環境問題、主に産業廃棄物問題を現地への訪問を通して研究して参りました。このような過程で、「対立」をいかに解決することができるのか、常に問題の主題であると痛感してきました。一方的に行政の不作為を指摘し続ける現地住民や歴史責任を攻め立てる学生などを前にしたときに、どう関係を改善させながら、相互理解を通して、「和解」や「解決」へと至ることができるのか、その方法論を学びたいと考えました。ロータリーの皆様が目標としていらっしゃる国際平和と相互理解は、私が専攻を希望している紛争解決学の重要な課題であります。帰国後は、教壇に立ち、国際理解を担う人を育成することに関われたらと考えております。ロータリーの皆様のご尽力と温かい支援に感謝をしながらこれから長いお付き合いの中で多くのことを学んでいけたらと考えております。



ロータリー国際親善奨学生が全員揃いました



公式訪問レポート

● 杉戸中央 RC ●

例会日：平成20年7月10日(木)

会長：小柳 明雄

幹事：菅原 千晶



年度早々に、岩渕 均ガバナー、島村 廣幸ガバナー補佐の訪問を受けました。

当日、例会場づくりをしていると、「岩渕です」

とプロジェクト、パソコン、スクリーン持参で、予定よりも早く御自身の運転で来られ大変恐縮しました。

例会前の面談では、会長、幹事、会長エレクト、直前会長を含め率直な意見交換をさせて頂き、またガバナーのロータリーに対する思いも伺うことができ大変中身の濃いものになりました。

公式訪問例会では、岩渕ガバナーより新会員へのバッヂの贈呈がありました。新会員にとって、大変印象に残るセレモニーになったと思います。

そして、例会におけるガバナー卓話、クラブ協議会では、パワーポイントを使っての大変わかりやすい説明があり、また、各委員会の発表に対しても丁寧にアドバイスを頂き適度な緊張感の中、大変有意義なクラブ協議会でした。また、島村廣幸ガバナー補佐からも今後のロータリー活動において大変参考になる助言を頂き誠に有難うございました。

● 大宮西 RC ●

例会日：平成20年7月14日(月)

会長：渋谷 廣慶

幹事：内山 泰成

来訪予定時間前に、PCを肩に、資料のカバンを手にした岩渕ガバナーは例会場にお見えになりました。

例会に先立ち、ガバナー、荒井ガナバー補佐、会長、幹事、会長エレクト、幹事エレクトによる懇談、席上では、創立46周年目を迎える当クラブの現状と今年度の活動方針を確認していただきました。

例会では、RIテーマと地区運営方針の明確な説明

を受け、また、卓話に先立つセレモニーでは、2人の新入会員にバッヂを付けていただきました。

クラブ協議会に於いては、当クラブにとってCLP組織元年、会員も活発に発言、ベテラン会員からは、ガバナー月信に期待する声も聞かれました。またガバナーからは、明確に応答、そして講評をいただきました。

懇親会まで含めると5時間に及び、お付き合いいただきました事感謝申し上げます。



● 鴻巣 RC ●

定例日：平成20年7月15日（火）

会長：島田 安夫

幹事：渡邊 仁



7月15日（火）岩渕ガバナー公式訪問当日、ガバナーが、10時45分位に来られるとの事なので、少し早いが準備をしておこうかと、クラブハウス9時30分位に行って見ましたら、クラブの会員駐車場に見なれない車が止まって居ましたので、窓を覗いて見たら、岩渕ガバナーがお1人で携帯電話で話していましたのでびっくりしまして、こんなに早くどうか

なさいましたか？と声をかけましたら、道のこみぐあいが判らないので早く来すぎてしまいましたと言って笑っておられました……ガバナーは眞面目な人なんだな——と思いました。とりあえず、お茶等出しましてくつろいでもらおうと思いましたら、これから時間迄勉強しますので、おかまいなくと言われました。11時より村山勝正ガバナー補佐、副会長の堀口さん、幹事の渡邊さんの5名でガバナー面談を致しました。

私からの事前質問に対し、明解にお答えになり私の悩みも消えました。又年度計画書の鴻巣ロータリークラブ定款に関する修正点を指摘していただきました。クラブ協議会に於ては、時間をたっぷり使っていただき懇切丁寧な講評及びご指導をいただき各委員長、たいへん喜んでおりました。

又協議会終了後の歓迎会には全員参加致しまして、ガバナー及びガバナー補佐様にはお酒を一滴も呑まずにウーロン茶で最後迄付き合っていただきました。

● 桶川 RC ●

例会日：平成20年7月16日（水）

会長：鈴木 拓雄

幹事：丹井 亮一

7月15日、16日は桶川祇園祭です。例会場の前の中山道は出店が出て歩行者天国となります。お祭りの最中は車の移動が出来ません。そこで、岩渕均ガバナーには電車でおいでいただきました。10時32分着の電車と言うことで、例会場に控えておりましたら、10時15分にはガバナーから電話が入りました。桶川駅に着きましたとの事で急いで迎えに上がりました。このことからも岩渕ガバナーの慎重な性格が見えます。

午前中の会長、幹事との懇談会では、ガバナーよりRI会長方針、地区運営方針の説明をいただき、また当クラブの現況等について意見交換しました。RI会長賞に挑戦してくださいとのことです。当クラブもぜひ挑戦します。ガバナー月信は16ページに増やし、ロータリー情報、職業倫理訓の解説、ロータリーエッセイの3大連載をするとのことでした。うれしいことです。

会員増強は最大の課題です。日本の会員数、寄付は減少していますが韓国、インド等は急激に伸びているようです。当クラブも100名候補者リストを作成し40周年には40名を達成したいと思います。とりあえず今年度は純増4名をめざしています。

財団学友はロータリーの大切な財産であるので、学友の動向を地区に知らせて欲しいとの事です。

また、ロータリーの活動を知ってもらうためには広報が欠かせません。当クラブも昨年度は「桶川小学校開校記念 健康遊歩道づくり」では、1.市の広報 2.埼玉新聞 3.中央読売 4.ロータリーの友等積極的に広報活動を行いました。ロータリーの活動を知ってもらわなければ、増強もままなりません。今年度も広報活動を積極的に行って行きたいと思います。

岩渕ガバナーの気さくな人柄に触れ、午後のクラブ協議会も充実したものとなりました。当クラブの会員28名中、パスト会長15名、入会3年未満の会員11名、平均年齢60歳。ここ数年パスト会長に会長をお願いしている状況（過去に4名）です。そこで、主要委員長に新会員を起用し、パスト会長に補佐していただきながら育成に努めていきます。とりあえず純増4名を達成し、内から見ても外から見ても入りたいクラブを目指します。

岩渕ガバナーありがとうございました。岩渕ガバナーには、ご健康にご留意いただき、任務を果たされますようご祈念申し上げます。



● 浦和東 RC ●

例会日：平成20年7月17日(木)

会長：大熊 信

幹事：町田 哲雄

7月17日 第1グループのトップをきって岩渕均ガバナー、久保和夫ガバナー補佐をお迎えをして、



公式訪問例会を開催致しました。

会長、幹事、会長エレクトを交えての懇談会では我がクラブの特徴及継続事業等について報告し、懇談を通してご指導を頂きました。次にガバナーよりクラブに対する要望のお話がございました。（活力有る行動で実行致します。）

例会でガバナーより新会員に象徴するバッジを付けて頂きました。

クラブ協議会では、各委員長より年度計画についての報告がなされまして、ガバナーより委員長に対して親切、丁寧なコメントをして頂き今後の活躍の参考となりました。有難うございました。

● 上尾北 RC ●

例会日：平成20年7月18日(金)

会長：矢部 一彦

幹事：今井 博幸

年度始まって早々に岩渕均ガバナー、村山勝正ガバナー補佐の訪問を受けました。ガバナーはご自身でお車を運転され直接例会場にお出でになりました。

会長、副会長、幹事との懇談に始まり、質問事項、要望についてガバナーの解答や見解が示され、例会では地区の方針やガバナーの考えを、プロジェクトを使って効率よく説明を頂き、又、クラブ協議会では本年度の活動の方向性について

適切な助言を頂きました。お話を伺って、ガバナーの「ロータリーを愛する心」というものを強く感じ事が出来ました。ありがとうございました。



● 八潮 RC ●

例会日：平成20年7月22日(火)

会長：磯貝 九万

幹事：増山 昌司

上野精養軒にて八潮 RC・ガバナー公式訪問例会並びに、織田直前会長、渡辺直前幹事慰労会を岩渕ガバナー、山口ガバナー補佐をお迎えして開催致しました。

公式訪問例会にて岩渕ガバナーはパワー・ポイントを使用し、視覚的に非常に分かり易く、RI 及び、地区の現状の卓話を頂き、特に RI としての子供の死亡率の低下、ポリオの撲滅の必要性を、地区においては会員増強・退会防止を訴えられました。

クラブ協議会において、活発で建設的な発表に伴い、岩渕ガバナーからの講評も分かり易く、クラブの実情に鑑みたクラブ運営について適切な助言を頂きました。

また新会員1名の入会式にて、岩渕ガバナーより、ロータリーバッジを胸に付けて頂き、貴重な思い出になった事と思います。

岩渕ガバナーの益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、御報告とさせて頂きます。



● 浦和北 RC ●

例会日：平成20年7月23日(水)

会長：渡邊 和良

幹事：藤波 恒男

7月23日（水）岩渕ガバナー、井上ガバナー補佐

をお迎えしての公式訪問が行われました。

会長・幹事懇談会に始まり、例会、岩渕ガバナーの RI・地区運営に関する卓話。その後のクラブ協議会は新しい試みとして、会員の退会防止、ローターアクト、地区の出席率競争の意義及びロータリーの基本の4つのテーマで自由討議しました。有意義な意見がたくさん出されましたので、今後のクラブ運営に活用させていただきます。又、ガバナーからは的確な講評をいただき有難うございました。今後ともご指導よろしく御願いいたします。



● 大宮南西 RC ●

例会日：平成20年7月24日(木)

会長：星野 孝夫

幹事：栗原 久



ロータリークラブは、地球に存在する奉仕のネットワークでしょう。

その年度～色々なテーマを基に目に触れる不幸や世界の悲惨な出来事を会員の英知と努力で頑張って百年が過ぎました……今後、身の廻りから将来の「夢をかたち」に出来る様、頑張る所存です。若い時は「愛をかたちに」子供達に恵まれ 生活と育児に頑張った事実が懐かしく、想い出となり、本年度テーマ「夢をかたちに」清廉実直な岩渕均ガバナーの基、有意義な活躍出来る、増強元年として、由緒有るロータリークラブに致したいと思います。

早速、年度計画に添った事業を的確に押し進め一年を有意義に過ごしたいと思います。

● 浦和南 RC ●

例会日：平成20年7月28日(月)

会長：黒澤 和夫

幹事：山田 邦昭



年度始り早々に岩渕ガバナー、久保ガバナー補佐をお迎えし公式訪問を開催させて頂きました。例会

前に岩渕ガバナーより会員増強資料をいただき、当クラブでも最も力を入れている問題で大変参考になりました。

クラブ例会では、RI会長方針をパワーポイントを使い、世界における日本のロータリー、水問題、ボリオの問題、世界の子供達の問題を詳しく説明をして頂きとても勉強になりました。

クラブ協議会では、各委員長が活発な発表を行いガバナーからも分かりやすい講評を頂き、熱が入り約30分オーバーした協議会でした。大変実のあるクラブ協議会が出来ました。最後に、岩渕ガバナー、久保ガバナー補佐の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。有難うございました。 感謝

● 鳩ヶ谷シティ RC ●

例会日：平成20年7月29日(火)

会長：石田 宣之

幹事：細田 栄一

7月29日、岩渕ガバナーが我々のクラブに公式訪問されました。例会の前に岩渕ガバナー、中里ガバナー補佐、私と細田幹事、石原エレクトで、懇談会を開いて頂きました。最初はとても緊張しましたがガバナーのやさしいお人柄とていねいな説明に、緊張も和らぎました。その中でクラブの現状をいろいろと説明致し、ガバナーより適切なご指導を受けました。例会ではRIテーマ「夢をかたちに」及び「地区運営」について興味深いスライドと卓話を頂きました。又クラブ協議会では、各委員長の方針、質問

等を発表していただきました。その中で特に増強と社会奉仕については重点的にお願いしておりました。ガバナーより丁寧なご説明を頂きまして、各委員長大変有意義なクラブ協議会であったと思っております。ご多忙中のガバナーにおかれましては、益々のご活躍とご健勝をお祈りいたします。



● 春日部南 RC ●

例会日：平成20年7月30日(水)

会長：秋山 貞義

幹事：中川 朗

7月30日、岩渕 均ガバナー、島村 廣幸ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会が行われました。



例会、協議会、懇親会と長時間に亘りありがとうございました。まず始め11時より会長、会長エレクト、幹事（代理）、会合が有り CLP導入の話し、春日都市内5高等学校野球大会の補助金話を聞き、例会に入りガバナー卓話をパソコン、スクリーン画面

にパワーポイントで会員に説明を頂きました。続いて協議会に入り各委員会毎にコメントを頂き、質疑応答も有り、明解で分かり易く、又、当クラブ3名減、地区内の会員の状況など説明を聞き、会員増強に力を注いで行きます。

続いて懇親会ではガバナーと会員の交流が深まり、公式訪問、誠にありがとうございました。

● 岩槻 RC ●

例会日：平成20年7月31日(木)

会長：中村 正

幹事：清水 恵子

本年度公式訪問が、岩渕ガバナー、荒井ガバナー補佐をお迎えして城址公園内の「市民会館いわつき」において行ないました。恒例の会長・幹事懇談会も緊張感の中で1時間行いクラブの現況と実情、会長方針そして主要施策の説明をお話しさせていただきました。昼食に埼玉B級グルメ優勝のご当地の豆腐ラーメンを召し上がっていただきこの日の公式訪問例会は節食例会としボリオに寄付させていただくことにしました。例会卓話では、RIテーマと地区運営方針を映像にて図解等でご説明いただきわかりやすく「子供の死亡率の低下」を強調した多くの課題事項に対

する思いが各会員に良く伝わることが出来ました。

クラブ協議会は、入会の浅い会員にも出来る限り発表の場を設け貴重な体験を得る事が出来ました。岩渕ガバナーを迎えてロータリーの学ぶものを多く習得し実りのある感銘深い公式訪問を終了することが出来ました。

これから益々の岩渕ガバナーのロータリーでのリーダーシップを期待しています。



連載 第三回 ロータリー情報ニュース

..... ● ● ● ● ●

「決議23-34」第1部

[総領に基づく諸活動に関するロータリーの方針] (副題)

ロータリー情報委員長 潛田 和雄

ロータリアンになって1~2年の間に必ず耳にする文言にこの「決議23-34」があります。

「We Serve か I Serve」とか「ロータリーは I Serve である」と先輩から聞かれたことと思います。ご存じの通り1923年に規定審議会で採択されたこの条文の成立の背景には、ロータリーの存続をも揺るがす大論争がありました。

そもそも、初期のロータリー運動の根本的な目的が「親睦と相互扶助」から「奉仕」へと転換していったことは皆さんご承知のとおりであります。当時、ロータリークラブへ入会する会員の主な目的は矢張り「親睦と相互扶助」であり、この考え方を何とかして「奉仕」に転換させようとしたポール・ハリスやシェルドンとの間に大論争に発展していったのです。実質的な社会奉仕活動と精神的な奉仕理念との間の論争でした。

この発端は、国際ロータリーがロータリークラブを通じて「身体障害児に対する支援活動をロータリーの主要な活動として年次プログラムに組み入れるべきである」として、このプログラムを実践するために、すべてのロータリアンが1ドルの特別寄付をするという運動方針をクラブに義務づけることと言う方向を採択しようとしておりました。ロータリーの存続問題になりかねない重大問題でありました。

こうした社会奉仕活動をロータリーにおいて実践するために入会したオハイオ州エリリア・クラブのエドガー・アーレンという人物がありました。彼は身体障害者養護学校を造り協会の会長となって奉仕活動に専念しておりましたが、この問題の解決のためにロータリーを取り込もう

うとしたことに猛烈な反対にあうことになりました。

特にこの問題点は、国際身体障害児協会の仕事をロータリーが代行し、その費用を援助するために、RIが特別人頭分担金をロータリアンから年間1ドル徴収することを定めたものであり、これが決議されればクラブの自治権まで侵害されかねないことになることは必至でした。

ここでついに、第14回のセントルイス国際大会において社会奉仕活動と精神的な奉仕理念即ち【総領に基づく諸活動に関するロータリーの方針】が発表採択され、長年にわたって論争を繰り返してきた「We Serve か I Serve」問題の結論に至ったわけであります。その後数回の国際大会を経て幾度となく改正され、今日我々が目にすることになりました。そしてそのタイトルも【社会奉仕に関するロータリーの方針】と改められました。決議23-34の第1条に次のように明記されております。(全文はロータリージャパンのホームページのロータリーの基礎知識にあります。又田中毅さんのホームページに詳しい解説が掲載されていますのでぜひご参考になさってください。)

「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情のあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この奉仕哲学は—「超我の奉仕」—の哲学であり、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践理論の原則に基づくものである。

連載

ロータリーの職業倫理訓逐条解説（3）

全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓

職業倫理委員長 青木 伸翁

第2条 自分の身を修め、自分の実力を涵養し、自分の奉仕の心を養うべきこと、ならびに、それを通じて奉仕に徹する者に最大の利益ありとするロータリーの基本原則を実践すべきこと

基本的にロータリーに無職の人はいません。皆、私的利潤の追求を業としているわけです。しかし、そのためには何をやってもいいというわけではありません。利潤の追求にも社会的責任の履行という裏打ちがなければなりません。つまり、周囲の人々の幸せと調和された範囲内での利潤の追求でなければならないということです。こうした利己と利他とを調和させる精神世界のことを「サービス」というのです。そして、こうした奉仕の基礎となる自分の心を磨き「奉仕の心を形成する」のがロータリーの例会です。

この倫理訓の影響下で書かれた初期ロータリーのバイブルとも言われるガイ・ガンディカーの「ロータリー通解」には「ロータリーの奉仕とは困った人の求めるものを置いてくるような即物的且つ瑣末なものを意味するのではない。ロータリーの奉仕とは良質な職業人が例会において自己研鑽を遂げ、一例会終わるごとに、自分の心の世界が深くなり、高くなり、自分の力量が大きくなっていくことを意味するのであつ

て、実力の涵養と人格の形成が根本である。こうして、自分の人格形成のエネルギーが社会万般を潤すことになる。これがロータリーの奉仕である」という宣言があります。この奉仕の心を実践の場に企業経営者の心に訴える形で表現したのが、アーサー・フレデリック・シェルドンの *He profits most who serves best* でした。日本では「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」と翻訳されました。ヨーロッパのロータリアンも同じように解釈したものと思われますが、これは *Give and take* でロータリーにふさわしくないと誤解し、ロータリーの標語から抹殺されようとしたのです。しかし、これは奉仕を利己と利他とを調和させる精神世界のことと読んで、「奉仕に徹する者に最大の利益あり」と読んでいけば職業奉仕の心ここにあります。もちろん、利益とは金銭的な儲けだけではなく、精神的な尊敬と信頼の獲得をも含むことは言うまでもありません。

次回10月号は

自分は事業経営者であり、したがって成功の野心を抱いていることを自覚すべきこと。だが、自分は道徳を重んずる人間であり、最高の正義と道徳に基づかざる成功は、これを欲するものではないことを自覚すべきこと。

■『地区大会物品販売ブース募集のご案内』■

今年度地区大会会場にて、会員企業の物品販売又は企業のPR用にブースを設置する事になりました。

多くの会員、ご家族及び市民の方々が参加される地区大会で、是非この機会にご利用下さい。

申込要領

- 1) 大会日程：11月15日（土）～11月16日（日）
- 2) 開催時間：両日共 11時～17時
- 3) ブーススペース：長机（横1800 巾900 高700）
- 4) 貸出し価格：1ブースにつき15000円（複数の貸出し可）

*詳しくは岩渕ガバナー事務所、地区大会幹事、鈴木眞まで、申込み用紙にてお申し込み下さい。

| | | | | | | |
|------------------------------|-------------------------------|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|------------------------------|
| ローラー クリー ブ団 | 大口寄付 31,000 \$ ベネファクター(21) | 大口寄付 32,250 \$ ベネファクター(6) | 大口寄付 28,430 \$ | 大口寄付 27,080 \$ | 大口寄付 16,030 \$ | 大口寄付 13,000 \$ |
| | | | | | | |
| 関口博正 (杉戸) 平成20年7月8日 | 東条和彦 (大宮東) 平成20年7月30日 | 北清治 (浦和東) 平成20年8月6日 | 古川益好 (八潮) 平成20年7月25日 | 吉田肇 (川口西) 平成20年7月15日 | 高柳貞夫 (大宮西) 平成20年7月29日 | |
| 大口寄付 11,000 \$ | 大口寄付 11,000 \$ | 大口寄付 11,000 \$ | 大口寄付 11,000 \$ | 大口寄付 10,480 \$ | 大口寄付 10,400 \$ | 大口寄付 10,370 \$ |
| | | | | | | |
| 近藤敬男 (蓮田) 平成20年7月25日 | 大塚信郎 (上尾) 平成20年7月25日 | 岡庭明 (三郷) 平成20年7月29日 | 下和雄 (大宮シティ) 平成20年8月7日 | 神田義昭 (浦和北) 平成20年7月24日 | 渋谷廣慶 (大宮西) 平成20年7月29日 | 吉池清 (浦和東) 平成20年8月6日 |
| M・P・H・F(8) | M・P・H・F(7) | M・P・H・F(7) | M・P・H・F(7) | M・P・H・F(6) | M・P・H・F(5) | M・P・H・F(5) |
| | | | | | | |
| 浜野英美 (大宮シティ) 平成20年8月7日 | 栗原正博 (蓮田) 平成20年7月25日 | 沖田定男 (大宮シティ) 平成20年8月7日 | 石井浩 (春日部) 平成20年8月21日 | 岡村尚次 (浦和東) 平成20年7月22日 | 遠藤政和 (栗橋) 平成20年7月17日 | 梅咲栄一 (浦和東) 平成20年7月22日 |
| M・P・H・F(5) | M・P・H・F(5) | M・P・H・F(5) ベネファクター | M・P・H・F(5) | M・P・H・F(4) | M・P・H・F(4) | M・P・H・F(3) |
| | | | | | | |
| 遠藤省吾 (大宮) 平成20年7月31日 | 清水猛 (大宮) 平成20年7月31日 | 永嶋良一 (大宮) 平成20年7月31日 | 星昭二 (大宮) 平成20年7月31日 | 清水伸洋 (大宮東) 平成20年7月30日 | 小川柾 (春日部) 平成20年8月6日 | 齋藤茂 (浦和東) 平成20年7月22日 |
| M・P・H・F(3) | M・P・H・F(3) | M・P・H・F(3) | M・P・H・F(3) | M・P・H・F(3) | M・P・H・F(3) | M・P・H・F(3) |
| | | | | | | |
| 石野榮一 (越谷南) 平成20年7月25日 | 正倉勝治 (久喜菖蒲) 平成20年7月29日 | 佃茂明 (浦和) 平成20年7月30日 | 浅野仁 (大宮) 平成20年7月31日 | 中川高志 (大宮) 平成20年7月31日 | 白田俊夫 (大宮シティ) 平成20年8月7日 | 鈴木康司 (大宮シティ) 平成20年8月7日 |

| | | | | | | |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|----------------------------------|------------------------------|----------------------------------|
| | | | | | | |
| M・P・H・F(3) | M・P・H・F(3) | M・P・H・F(2) | M・P・H・F(2) | M・P・H・F(2) | M・P・H・F(2) | M・P・H・F(2) |
| 橋本直子 (大宮シティ) 平成20年8月7日 | 吉田耕之 (大宮シティ) 平成20年8月7日 | 榎本秀雄 (浦和東) 平成20年7月22日 | 岡村明彦 (浦和東) 平成20年7月22日 | 町田哲雄 (浦和東) 平成20年7月22日 | 生田英生 (庄和) 平成20年7月23日 | 清水順子 (浦和ダイヤモンド) 平成20年7月24日 |
| | | | | | | |
| M・P・H・F(2) | M・P・H・F(2) | M・P・H・F(2) | M・P・H・F(2) | M・P・H・F(2) | M・P・H・F(2) | M・P・H・F(2) |
| 川田金造 (蓮田) 平成20年7月25日 | 波多野勝治 (蓮田) 平成20年7月25日 | 八鍬伸一 (蓮田) 平成20年7月25日 | 坂間正 (大宮西) 平成20年7月29日 | 清水恒信 (大宮西) 平成20年7月29日 | 千葉利明 (久喜菖蒲) 平成20年7月29日 | 江本尚浩 (大宮) 平成20年7月31日 |
| | | | | | | |
| M・P・H・F(2) | M・P・H・F(2) | M・P・H・F(2) | M・P・H・F(2) | M・P・H・F(1) ベネファクター(3) | M・P・H・F(1) | M・P・H・F(1) |
| 関仁太郎 (春日部) 平成20年8月6日 | 田村晃佑 (春日部) 平成20年8月6日 | 増野達郎 (大宮シティ) 平成20年8月7日 | 柳澤和豊 (大宮シティ) 平成20年8月7日 | 野崎敦子 (浦和ダイヤモンド) 平成20年7月24日 | 石田国勝 (越谷南) 平成20年7月25日 | 岩渕秀一 (越谷南) 平成20年7月25日 |
| | | | | | | |
| M・P・H・F(1) | M・P・H・F(1) | M・P・H・F(1) | M・P・H・F(1) | M・P・H・F(1) | M・P・H・F(1) | M・P・H・F(1) |
| 古塚明人 (蓮田) 平成20年7月25日 | 大塚崇行 (上尾) 平成20年7月25日 | 大竹敦 (大宮) 平成20年7月31日 | 小林義久 (大宮) 平成20年7月31日 | 岩谷周弘 (春日部) 平成20年8月6日 | 周東美貴 (大宮シティ) 平成20年8月7日 | 矢崎淳 (大宮シティ) 平成20年8月7日 |
| | | | | | | |
| P・H・F | P・H・F | P・H・F | P・H・F | ベネファクター | ベネファクター | ベネファクター |
| 田村友彦 (春日部) 平成20年8月6日 | 井上昭廣 (大宮シティ) 平成20年8月7日 | 井上悟 (大宮シティ) 平成20年8月7日 | 男澤望 (大宮シティ) 平成20年8月7日 | 吉村雅男 (浦和東) 平成20年7月1日 | 荒井伸夫 (大宮西) 平成20年7月29日 | 早稻田一也 (浦和) 平成20年7月30日 |



大熊 信
(浦和東)
平成20年8月6日



岩佐ひろみ
(大宮シティ)
平成20年8月7日



恵川一成
(大宮シティ)
平成20年8月7日

米山奨学会



高柳貞夫
(大宮西)
平成20年7月29日



吉田 肇
(川口西)
平成20年7月15日



岡庭 明
(三郷)
平成20年7月29日



北 清治
(浦和東)
平成20年8月5日



柏原正昭
(三郷)
平成20年7月29日



恵川一成
(大宮シティ)
平成20年8月7日



高木俊二
(大宮シティ)
平成20年8月7日



浜野英美
(大宮シティ)
平成20年8月7日



神田義昭
(浦和北)
平成20年7月24日



富永建
(上尾)
平成20年7月25日



大塚信郎
(上尾)
平成20年7月25日



海野龜男
(浦和東)
平成20年7月22日



澤慎元
(蓮田)
平成20年7月25日



佐藤栄太郎
(大宮西)
平成20年7月29日



鯨岡文夫
(蓮田)
平成20年7月25日



坂間 正
(大宮西)
平成20年7月29日



吉川公夫
(上尾)
平成20年7月25日



昼間忠久
(大宮西)
平成20年7月29日



細谷卓良
(春日部)
平成20年8月6日



沖田定男
(大宮シティ)
平成20年8月7日



大熊 信
(浦和東)
平成20年7月22日



林 正
(大宮西)
平成20年7月29日



堀切良一
(三郷)
平成20年7月29日



白田俊夫
(大宮シティ)
平成20年8月7日



千代邦夫
(大宮東)
平成20年8月8日



飯島雷治郎
(栗橋)
平成20年7月17日



大熊 進
(越谷南)
平成20年7月25日



荒井伸夫
正倉勝治
吉田暎治
清水伸洋
生田英生
渋谷廣慶
本田守
(大宮西)
(久喜菖蒲)
(大宮西)
(大宮東)
(庄和)
(大宮西)
(上尾西)
平成20年7月29日
平成20年7月29日
平成20年7月29日
平成20年7月30日
平成20年7月23日
平成20年7月29日
平成20年7月30日



遊馬久治
澤野伸司
半田正一
十川英男
岡庭武利
佃茂明
岩井良彦
(大宮北東)
(浦和東)
(浦和東)
(蓮田)
(三郷)
(浦和)
(大宮)
平成20年8月6日
平成20年7月22日
平成20年7月22日
平成20年7月25日
平成20年7月29日
平成20年7月30日
平成20年7月31日



榎本博
窪川勝久
佐藤正行
吉池清
染谷英寿
日向映介
三上憲治
(浦和東)
(浦和東)
(浦和東)
(浦和東)
(春日部)
(大宮シティ)
(浦和東)
平成20年8月5日
平成20年8月5日
平成20年8月5日
平成20年8月5日
平成20年8月6日
平成20年8月7日
平成20年7月22日



菊地隆喜
石田国勝
大塚崇行
加藤佳孝
清水恒信
日下部眞史
関口茂
(庄和)
(越谷南)
(上尾)
(上尾)
(大宮西)
(大宮)
(大宮)
平成20年7月23日
平成20年7月25日
平成20年7月25日
平成20年7月25日
平成20年7月29日
平成20年7月31日
平成20年7月31日



中川高志
佐々木直之
町田哲雄
武藤茂
折原弥五郎
若木健一
岩渕秀一
(大宮)
(大宮北東)
(浦和東)
(浦和東)
(杉戸中央)
(杉戸中央)
(越谷南)
平成20年7月31日
平成20年7月14日
平成20年7月22日
平成20年7月22日
平成20年7月23日
平成20年7月23日
平成20年7月25日



本橋敏男
(蓮田)
平成20年7月25日

中村雅之
(大宮西)
平成20年7月29日

土屋貴光
(浦和東)
平成20年8月5日

北西浩昭
(大宮シティ)
平成20年8月7日

島田幸男
(大宮シティ)
平成20年8月7日

小暮昭弘
(大宮北東)
平成20年7月14日

宮田一雄
(庄和)
平成20年7月23日



黒須雅行
(蓮田)
平成20年7月25日

八鍬伸一
(蓮田)
平成20年7月25日

宇田川初夫
(三郷)
平成20年7月29日

山田宗一
(大宮東)
平成20年7月30日

山田雅明
(大宮東)
平成20年7月30日

山田康博
(大宮東)
平成20年7月30日

進藤博司
(大宮)
平成20年7月31日



海田英彦
(浦和東)
平成20年8月5日

松村繁
(浦和東)
平成20年8月5日

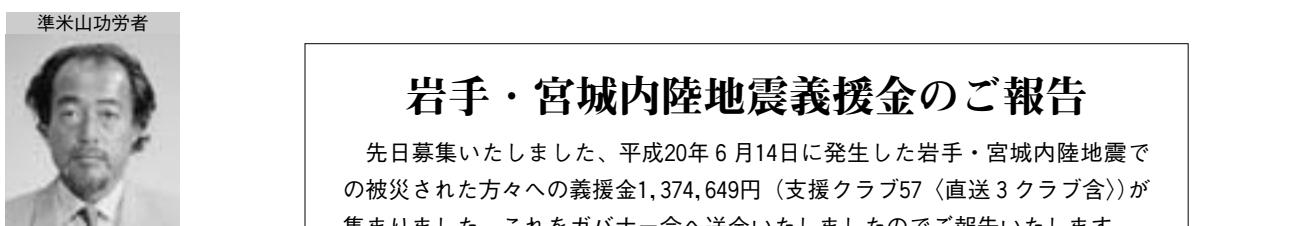
斎藤徹
(大宮シティ)
平成20年8月7日

坂本義信
(大宮シティ)
平成20年8月7日

蓮見直彦
(大宮シティ)
平成20年8月7日

恒田芳明
(浦和東)
平成20年7月22日

野口功
(浦和東)
平成20年7月22日



横田安民
(浦和東)
平成20年8月5日

岩手・宮城内陸地震義援金のご報告

先日募集いたしました、平成20年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震での被災された方々への義援金1,374,649円（支援クラブ57〈直送3クラブ含〉）が集まりました。これをガバナー会へ送金いたしましたのでご報告いたします。
ご協力ありがとうございました。



長壁宏明
(鴻巣水曜)
平成20年7月1日入会
群馬銀行 鴻巣支店
手形交換業

貫井祐介
(川口むさし野)
平成20年7月2日入会
南部興産株
機械リース

前田智康
(大宮シティ)
平成20年7月9日入会
㈱アイ・ビー・エンジニアリング
一般土木

川畠市郎
(大宮南西)
平成20年7月10日入会
サンケイ工業株
寝具の生産

後藤崇宏
(川口)
平成20年7月10日入会
(有)ケアラ
柔道整復業

星野豊
(杉戸中央)
平成20年7月10日入会
星野タイル工業所
タイル工事



染谷道夫

(大宮シティ)
平成20年7月16日入会
ブルデンシャル生命保険㈱
団体保険

富岡重孝

(浦和東)
平成20年7月17日入会
第一測量設計㈱
測量

松下徹

(川口)
平成20年7月17日入会
野村證券㈱ 川口支店
証券引受

山田てる子

(岩槻)
平成20年7月17日入会
(有)山田人形店
日本人形製造

国府田茂

(三郷)
平成20年7月18日入会
常陽銀行 三郷支店
地方銀行

長谷川博

(大宮)
平成20年7月18日入会
長谷川博司法書士事務所
司法書士

高橋英史

(八潮)
平成20年7月22日入会
司法書士 山田事務所
司法書士

遠藤直充

(大宮北)
平成20年7月22日入会
(株)オファ
保険代理業

橋本龍彦

(大宮南西)
平成20年7月24日入会
(株)サット
通信事業

松本岩男

(越谷南)
平成20年7月24日入会
松本岩男税理士事務所
税理士

佐々木教哲

(岩槻)
平成20年7月24日入会
宗教法人 正蔵院
仏教

島田茂

(上尾)
平成20年7月24日入会
(有)尾花屋金物店
金物販売

松谷勝

(浦和)
平成20年7月25日入会
(株)関電工 埼玉支店
電気工事

宮原重行

(浦和)
平成20年7月25日入会
(株)武藏野銀行 浦和支店
地方銀行

藤澤義彦

(さいたま中央)
平成20年7月31日入会
あいおい損害保険㈱
損害保険

遠藤圭輔

(大宮北東)
平成20年8月5日入会
デザイン事務所アイビーエム
グラフィックデザイン

熊井初雄

(鳩ヶ谷)
平成20年8月7日入会
(有)エステート熊井
不動産管理

花井政樹

(鳩ヶ谷)
平成20年8月7日入会
㈱ハナイアバングランニング
不動産業

(D. 2510地区大会記録)

- ◎「決議34号」 鈴木昭政 2008 3 p (D. 2800月信)
- ◎「増強はクラブとロータリアンの強化が唯一の方法 それは新会員の意識を高めることから出発する」 服部芳樹 2008 5 p (D. 2510地区大会記録)
- ◎「今だからこそ聞く ロータリーとは何か」 深川純一 2008 8 p (D. 2830地区大会記録誌)
- ◎「ロータリーを生きる」 佐古亮尊 2008 13p (D. 2830地区大会記録誌)
- ◎「CLPとロータリー」 神崎正陳 2007 6 p (D. 2500地区大会報告書)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー／PDF)]

ロータリーライ

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15

黒龍芝公園ビル3F

TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館=午前10時～午後5時

休館=土・日・祝祭日

| グループ | クラブ名 | 2008年7月1日現在 | | 当月末会員数 内女性 | 当月入会 内女性 | 当月退会 | 増減 | 当月出席率 | 当月順位 | 通算順位 | |
|--------|----------|-------------|-----|---------------|-------------|------|----|--------|-------|------|----|
| | | 内女性 | 内女性 | | | | | | | | |
| 第一グループ | 浦 和 | 102 | 2 | 103 | 2 | 2 | 1 | 93.47 | 14 | 14 | |
| | 浦 和 東 | 73 | | 74 | | 1 | | 86.31 | 32 | 32 | |
| | 浦 和 南 | 37 | | 37 | | | | 92.47 | 17 | 17 | |
| | 浦 和 中 | 44 | 2 | 44 | 2 | | | 84.76 | 40 | 40 | |
| | 浦和ダイヤモンド | 19 | 10 | 19 | 10 | | | 100.00 | 1 | 1 | |
| | 第1グループ計 | 275 | 14 | 277 | 14 | 3 | 1 | 91.40 | | | |
| 第二グループ | 浦 和 北 | 79 | 6 | 78 | 5 | | 1 | -1 | 90.00 | 22 | 22 |
| | さいたま中央 | 48 | | 50 | | 2 | | 82.45 | 55 | 55 | |
| | 浦 和 西 | 14 | 3 | 14 | 3 | | | 85.71 | 35 | 35 | |
| | 浦 和 北 東 | 40 | 1 | 40 | 1 | | | 72.00 | 78 | 78 | |
| | さいたま新都心 | 38 | | 38 | | | | 87.96 | 26 | 26 | |
| | 浦和イブニング | 11 | 1 | 11 | 1 | | | 72.72 | 76 | 76 | |
| 第三グループ | 第2グループ計 | 230 | 11 | 231 | 10 | 2 | 1 | 1 | 81.81 | | |
| | 大 宮 | 59 | | 61 | | 2 | | 85.34 | 37 | 37 | |
| | 大 宮 南 | 35 | 5 | 35 | 5 | | | 83.99 | 45 | 45 | |
| | 大 宮 中央 | 58 | | 58 | | | | 82.09 | 59 | 59 | |
| | 大 宮 南 東 | 8 | 2 | 8 | 2 | | | 87.50 | 28 | 28 | |
| | 大 宮 シティ | 56 | 6 | 58 | 6 | 2 | | 82.66 | 53 | 53 | |
| 第四グループ | さいたま 榛 | 21 | | 21 | | | | 78.09 | 67 | 67 | |
| | 第3グループ計 | 237 | 13 | 241 | 13 | 4 | 0 | 4 | 83.28 | | |
| | 大 宮 西 | 46 | | 48 | | 2 | | 82.11 | 58 | 58 | |
| | 岩 槻 | 35 | 3 | 37 | 4 | 2 | | 72.49 | 77 | 77 | |
| | 大 宮 北 | 32 | 1 | 32 | 1 | 1 | 1 | 73.79 | 75 | 75 | |
| | 大 宮 南 西 | 17 | 1 | 19 | 1 | 2 | | 82.37 | 56 | 56 | |
| 第五グループ | 大 宮 東 | 41 | 1 | 41 | 1 | | | 91.21 | 19 | 19 | |
| | 岩 槻 東 | 34 | | 33 | | | 1 | -1 | 77.67 | 69 | 69 |
| | 大 宮 北 東 | 17 | 2 | 19 | 2 | 2 | | 82.59 | 54 | 54 | |
| | 岩 槻 中央 | 19 | | 19 | | | | 92.64 | 16 | 16 | |
| | 第4グループ計 | 241 | 8 | 248 | 9 | 9 | 2 | 7 | 81.86 | | |
| | 上 尾 | 44 | | 45 | | 1 | | 1 | 78.03 | 68 | 68 |
| 第六グループ | 鴻 巣 | 36 | 1 | 36 | 1 | | | 86.11 | 34 | 34 | |
| | 桶 川 | 28 | | 28 | | | | 88.43 | 24 | 24 | |
| | 上 尾 西 | 52 | | 52 | | | | 90.02 | 21 | 21 | |
| | 北 本 | 8 | | 8 | | | | 87.50 | 28 | 28 | |
| | 上 尾 東 | 26 | | 26 | | | | 86.15 | 33 | 33 | |
| | 上 尾 北 | 32 | | 32 | | | | 89.17 | 23 | 23 | |
| 第七グループ | 鴻 巣 水 曜 | 33 | 3 | 33 | 3 | | | 83.63 | 47 | 47 | |
| | 桶川イブニング | 18 | 2 | 18 | 2 | | | 83.33 | 49 | 49 | |
| | 第5グループ計 | 277 | 6 | 278 | 6 | 1 | 0 | 1 | 85.82 | | |
| | 春 日 部 | 45 | | 45 | | | | 95.00 | 11 | 11 | |
| | 杉 戸 | 29 | 2 | 29 | 2 | | | 84.13 | 44 | 44 | |
| | 春 日 部 西 | 37 | 4 | 37 | 4 | | | 84.43 | 42 | 42 | |
| 第八グループ | 庄 和 | 24 | | 24 | | | | 83.20 | 50 | 50 | |
| | 春 日 部 南 | 28 | 5 | 28 | 5 | | | 75.00 | 73 | 73 | |
| | 春日部イブニング | 18 | 1 | 18 | 1 | | | 85.46 | 36 | 36 | |
| | 杉 戸 中央 | 22 | | 23 | | 1 | | 79.78 | 65 | 65 | |
| | 第6グループ計 | 203 | 12 | 204 | 12 | 1 | 0 | 1 | 83.86 | | |

| グループ | クラブ名 | 2008年7月1日現在 | | 当月末会員数 内女性 | 当月入会 内女性 | 当月退会 | 増減 | 当月出席率 | 当月順位 | 通算順位 | |
|---------|-----------|-------------|-----|---------------|-------------|------|----|-------|--------|------|----|
| | | 内女性 | 内女性 | | | | | | | | |
| 第七グループ | 幸 手 | 47 | 3 | 47 | 3 | | | | 82.12 | 57 | 57 |
| | 蓮 田 | 31 | | 31 | | | | | 81.45 | 61 | 61 |
| | 久 喜 菖 蒲 | 56 | 2 | 56 | 2 | 1 | 1 | | 85.11 | 38 | 38 |
| | 栗 橋 | 15 | | 15 | | | | | 96.36 | 8 | 8 |
| | 白 岡 | 5 | 1 | 5 | 1 | | | | 80.00 | 64 | 64 |
| | 幸 手 中 央 | 25 | 1 | 25 | 1 | | | | 72.00 | 78 | 78 |
| 第八グループ | 第7グループ計 | 179 | 7 | 179 | 7 | 1 | 1 | 0 | 82.84 | | |
| | 越 谷 | 77 | | 78 | | 1 | | 1 | 96.48 | 6 | 6 |
| | 越 谷 南 | 47 | 2 | 49 | 2 | 2 | | 2 | 70.80 | 80 | 80 |
| | 越 谷 北 | 45 | | 45 | | | | | 83.42 | 48 | 48 |
| | 越 谷 東 | 45 | 4 | 45 | 4 | | | | 83.64 | 46 | 46 |
| | 越 谷 中 | 17 | 1 | 17 | 1 | | | | 75.00 | 73 | 73 |
| 第九グループ | 第8グループ計 | 231 | 7 | 234 | 7 | 3 | 0 | 3 | 81.87 | | |
| | 草 加 | 23 | 2 | 23 | 2 | | | | 68.42 | 81 | 81 |
| | 八 潮 | 49 | 6 | 50 | 6 | 1 | | 1 | 88.38 | 25 | 25 |
| | 草 加 南 | 18 | 2 | 18 | 2 | | | | 84.61 | 41 | 41 |
| | 八潮イブニング | 26 | | 26 | | | | | 83.07 | 51 | 51 |
| | 草加イブニング | 11 | | 11 | | | | | 76.36 | 72 | 72 |
| 第十グループ | 八 潮 中 央 | 17 | | 17 | | | | | 92.94 | 15 | 15 |
| | 草 加 中 央 | 27 | | 28 | | 1 | | 1 | 86.50 | 31 | 31 |
| | 八 潮 シ テ イ | 18 | | 18 | | | | | 66.64 | 82 | 82 |
| | 草 加 2 1 | 10 | 4 | 10 | 4 | | | | 97.50 | 4 | 4 |
| | 第9グループ計 | 199 | 14 | 201 | 14 | 2 | 0 | 2 | 82.71 | | |
| | 吉 川 | 31 | 2 | 31 | 2 | | | | 87.74 | 27 | 27 |
| 第十一グループ | 三 郷 | 31 | 2 | 32 | 2 | 1 | | 1 | 84.15 | 43 | 43 |
| | 三 郷 中 央 | 25 | | 25 | | | | | 100.00 | 1 | 1 |
| | 三郷ウェンズデー | 19 | 1 | 20 | 2 | 1 | | 1 | 79.17 | 66 | 66 |
| | 松 伏 | 12 | 2 | 12 | 2 | | | | 91.67 | 18 | 18 |
| | 第10グループ計 | 118 | 7 | 120 | 8 | 2 | 0 | 2 | 88.55 | | |
| | 川 口 | 72 | 11 | 74 | 11 | 2 | | 2 | 81.47 | 60 | 60 |
| 第十二グループ | 鳩 ケ 谷 | 30 | | 30 | | | | | 81.42 | 62 | 62 |
| | 川 口 東 | 21 | 1 | 22 | 1 | 1 | | 1 | 96.72 | 5 | 5 |
| | 川口・鳩ヶ谷武南 | 30 | 2 | 30 | 2 | | | | 81.34 | 63 | 63 |
| | 川口モーニング | 28 | | 28 | | | | | 93.52 | 13 | 13 |
| | 川 口 南 | 32 | 6 | 32 | 6 | | | | 77.50 | 70 | 70 |
| | 鳩ヶ谷シティ | 19 | 2 | 19 | 2 | | | | 96.47 | 7 | 7 |
| 第十三グループ | 第11グループ計 | 232 | 22 | 235 | 22 | 3 | 0 | 3 | 86.92 | | |
| | 戸 田 | 52 | 5 | 52 | 5 | | | | 85.00 | 39 | 39 |
| | 蕨 | 32 | 1 | 32 | 1 | | | | 94.82 | 12 | 12 |
| | 川 口 西 | 32 | 4 | 32 | 4 | | | | 86.76 | 30 | 30 |
| | 戸 田 西 | 33 | 3 | 33 | 3 | | | | 82.75 | 52 | 52 |
| | 川 口 北 | 34 | | 34 | | | | | 100.00 | 1 | 1 |
| 第十四グループ | 川 口 北 東 | 37 | 3 | 38 | 3 | 1 | | 1 | 90.40 | 20 | 20 |
| | 川 口 中 央 | 14 | 1 | 14 | 1 | | | | 95.55 | 10 | 10 |
| | 川口むさし野 | 14 | | 15 | | 1 | | 1 | 96.00 | 9 | 9 |
| | 戸田イブニング | 21 | | 21 | | | | | 77.00 | 71 | 71 |
| | 第12グループ計 | 269 | 17 | 271 | 17 | 2 | 0 | 2 | 89.81 | | |
| | 地 区 合 計 | 2,691 | 138 | 2,719 | 139 | 33 | 5 | 28 | 85.06 | | |



3歳の頃のポール・ハリス

けであり、その後も一国として共同運営する気はなかった。あく迄もユナイテッド・ステーツで、神聖ローマ帝国、即ちドイツ帝国流にバラバニアに行くつもりだった。

問題は、フランクリンがヨーロッパで集めた軍資金負債の返済だった。

フランクリンは独立後のアメリカの関税を担保にしたから、各州が別々

に関税収入をポケットに入れては困るのである。後から集めるのは不可能だから、関税管理と負債返済だけを目的とした連邦政府を作ることに

したが、かかる条項を加えた憲法制定会議では大揉めになつた。一応批准はされたものの、州政府と連邦政府との力関係をめぐる議論が起り、政党へと発展する。ちなみに南北戦争は黒人奴隸への意見対立よりも、

州と連邦との合意内容に関する対決だつた。

ポールはこの先生も学校も大嫌いだつた。

ポール・パーシー・ハリスの父系祖父母はピューリタンだつたが、母系祖父はカトリックだつた様に思える。祖父はアイルランドからアメリカに來たから、多分生國でのイギリ

ス国教会の締付けに反対していたのだろう。

マイフラワー号以後のイギリスのピューリタンはカトリック教徒たるジェームズ1世やチャールズ1世に反対し、国会軍を率いてピューリタン革命を成功させた。領袖クロムウエルは独裁者となつて、チャールズ1世を死刑に処し、アイルランドにも攻込んで、カトリック教徒を圧迫した。

ポールはバーモント州ウォリングフォードと言う田舎で祖父母と暮らしたが、地元の教会付小学校に通つた。牧師は自らを敬虔なピューリタンと思っていたらどうが、ポールから見ると頑固一徹、規則で縛り上げる、血も涙もない男だった。この牧師兼教師は規則を破つた生徒には鞭を振つたと言うから、今の日本なら

大問題になりかねない先生だつた。

ポールはこの先生も学校も大嫌いだつた。

で、発見されない様な悪戯を繰返したと言う。世の中は皮肉に出来ていて、今この教会学校が地元ローテリアンの熱意で保存され、記念館になつてている。

ポールの父母はそろつて経済観念の乏しい人とされ、浪費が好きで、儉約をする様な夫婦ではなかつた、と伝記に書いてある。父は高度な教育を受けたが、発明家乃至は一獲千金を夢見る企業家で、小切手で買いつり、決済日が来ると、祖父に泣込んだ。いくら始末をしてやつても直らないので、祖父母はこの息子夫婦を別居させ、孫のポールを引取つた。

ポールの生れたのはシカゴ近くのウィスコンシン州で、バーモント州に來た時ヘアスタイルでひやかされたと言うから、軽度のいじめ、又はカルチュアショックを受けたのだろう。幼くして母と引離された淋しさもあり、学校でもいつも叱られていたから、問題児化して行つたのも止むなしである。何處の学校でも校則違反で退学になり、まともに卒業し

たのは士官学校とプリンストン大学だけと言ふ輝やかしい学歴の持主になつた。

彼は著書でこう言う。「ロータリーは社会、宗教、民族の統一とは無関係である。殊に宗教は過去の歴史で様々な悲劇を生んで來たから、寛容の精神を第一とすべきだ。」

ロータリー・エッセイの予定

(1) ポールへの興味

(2) マイフラワー号とハリス家の関係

(3) 独立戦争前後と宗教的不寛容

(4) ゴールドラッシュとポールの母方祖父

(5) 南北戦争と戦争絶対反対

(6) 大膨張時代とポールの青春遍歴

(7) ロータリアンへの教訓

(8) ポールがロータリーに求めたもの

(9) シカゴでの弁護士生活

(10) ポールのミドルネーム

(11) エマソンの思想とロータリー

(12) ポールの性格

アメリカ史の魅力

ロータリーエッセイ

(3) 独立戦争前後と宗教的不寛容排除

浦和ロータリー・クラブ 矢作 好英

アメリカ大陸を発見したのはコロンブスだが、彼はこの地をイングランド植民地を拡大して行つた。一部と思い込んでいた。バイキングの連中が行き着いたとも言われているが、何も盗る物がなかつたので、そのまま引き上げたらしい。

スペイン政府から依頼されたフイルンツェ人アメリゴ・ベスپィッチが探検・報告したので、彼の名前からアメリカと命名された。

アメリカ大陸を帰港地としてではなく、開拓しようと言う動きは16世紀末頃から始まる。イギリス人ウォルター・ローリーがエリザベス1世にちなんでバージニアと名付けた時代である。

イギリスはオランダの開拓地ニューネーデルラントを奪つたり、インディアン酋長メタカムとの戦争で土

地を占領したりして、ニューアイギングランド植民地を拡大して行つた。

本国で禁止されたクエーカー教徒は植民地でも受けられず、英國王チャールズ2世の大債権者になつた海軍提督の息子ウイリアム・ベンが特許状を得て、ペンシルバニアを開き、本国人同様の信教の自由を許可した。この為ペンシルバニアにはオランダ、スウェーデン、ドイツ、イス、アイルランド等から入植者が出てきた。

ヨーロッパを本国とする人々がヨーロッパを本国とする人々が各々地で開拓を始めたが、ヨーロッパで英と仏が戦争を開始すると、植民地一体感を生んだと言われている。

でも英系と仏系がドンパチを始め、それに提携していたインディアン各族も加わつた。

宗教と言つてもキリスト教各宗派

のことだが、植民地で寛容だったのはごく一部の州であり、ほとんどの州では他宗派を受入れず、魔女裁判や異端火刑が行われていた。

宗派ごとに固まつた集団が存在し、

他宗派は入れてもらえないから、少數派は自分達の教会がなく、同宗派他国出身者の教会に属さざるを得ない。ペンシルバニアの例の如く、数ヶ国出身者が同じ教会に礼拝すると、困るのは牧師である。何ヶ国語も出来る訳ではないし、何人の牧師が次々に同じ話を繰返すことも時間の問題がある。そこで行われたのが「教会では英語だけしか使わない」という内規である。「牧師の話が聞きたければ、英語を学べ」と言う論理だが、大相撲の外国人力士教育法と似ており、これが言語習得の捷径である。この英語活用法がアメリカの各植民地を放置していたが、18世紀後半から積極介入を始める様になつた。その理由はアメリカ経済の活性化である。

始めの内はイギリス本国はアメリカ植民地を放置していたが、1783年アメリカの独立が承認された。この時植民地側で戦つた13州はイギリスから独立する為に一緒になつただ



ポール・ハリスが少年時代を過ごした、ウォーリングフォードにある祖母の家



写真で見る

ロータリーとその家族



カイロで勉強中の国際親善奨学生 相島葉月から写真が届きました



カイロ市内で行われた聖者トウニーのマウリド(生誕祭)の様子



ナイルデルタにあるイスラームの聖者廟に参詣に行った
帰り道に立ち寄った喫茶店にて

国際親善奨学生 第1回オリエンテーション開催さる



国際親善奨学生とロータリアンと



オリエンテーションの後の懇親会にて

米山記念奨学部門セミナー開催さる



奨学生の属する国旗の飾られた会場

広報部門セミナー開催さる



マスコミが取り上げ易い記事とは

裏表紙はカラー印刷が可能です。このため、このページは皆様のクラブやロータリー家族からの投稿を写真入りで掲載することにしました。できる限り掲載いたしますので、是非積極的に投稿願います。
投稿はガバナー事務所まで。

E-mail : ri2770iwabuchi.plum.plala.co.jp